

# ピロリ菌ってなあに？



常陸大宮済生会病院 外科部長 宇井 崇

## <ピロリ菌とは？>

ピロリ菌は胃の中に住み着く菌です。胃の中は食物の消化を助け、食物の腐敗を防ぐため胃液(塩酸)が分泌されています。鉄をも溶かしてしまう強酸性なので通常の菌は生息出来ませんが、ピロリ菌だけは生きていけます。ピロリ菌がだす「ウレアーゼ」という酵素がアンモニアを作り、ピロリ菌の周りだけ中和できるからです。ピロリ菌感染は慢性胃炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍、そして胃がんの原因になります。

## <ピロリ菌の感染原因>

ピロリ菌はほとんどが幼少期(2歳まで)に感染すると言われています。幼少期の胃の中は酸性が弱く、ピロリ菌が生き延びやすいからです。ではピロリ菌はどのようにして胃の中に入り込むのでしょうか？口から入るのは間違いないので、唾液を介した口口感染や糞便を介した糞口感染(井戸水など)が考えられます。

劣悪な衛生環境で幼少期を過ごすさまざまな感染経路が考えられますが、現在の日本では衛生環境が改善したので、乳幼児の家庭内感染が主な感染源と考えられています。食べ物を噛んで与えたり、味見をする際に同じスプーンを使用することで感染機会が増えるので気を付けましょう。

## <ピロリ菌の検査>

ピロリ菌の検査方法には、内視鏡を必要とする検査と内視鏡を必要としない検査があります。それぞれ一長一短があります。常陸大宮市の胃がん検診では胃がんのリスク検診としてピロリ菌感染の有無を確認することが出来ます。

## <ピロリ菌がいたら、どうしたらいいの？>

検査でピロリ菌感染があり、慢性胃炎や潰瘍・胃がんが認められたときは除菌治療が勧められます。3種類の薬剤を1週間内服することで高率に除菌する事が出来ます。ただし、除菌してもピロリ菌が残存することがあるので、必ず除菌判定検査を受けましょう。また、ピロリ菌除菌後にも胃がんは発見されますので、定期的な内視鏡検査が望ましいと考えられます。

当院ではピロリ菌感染の検査、内視鏡検査が施行でき、ピロリ菌除菌も行っていますのでお気軽にご相談下さい。



※救急受け入れの人数を月別に表しています。(休日・時間外を含む)

### 常陸大宮済生会病院救急患者受入状況

■ 救急車以外  
■ 救急車

